

第 86 回全米市長会議総会 広島市長メッセージ ボストン 2018 年 6 月 10 日

始めに、全米市長会議の皆様が、平和首長会議の活動に賛同する決議を 2004 年以降採択してくださっていることに感謝します。また、本日こうして発言の機会を与えていただき、大変光栄に思います。

広島市長である私が会長を務める平和首長会議は、163 か国・地域の 7,500 以上の加盟都市が活動を展開している超党派の国際組織で、米国においても 213 都市に加盟いただいています。「核兵器のない世界の実現」と「安全で活力のある都市の実現」という二つの目標を掲げ、私たちの最終ゴールである世界恒久平和へ向けて協力しながら取組を推進しています。

まず、我が街広島とその市民について、少しお話させてください。今から 73 年前の 1945 年 8 月 6 日、一発の原子爆弾により広島は街は廃墟と化しました。かろうじて生き延びた人たちも、愛する家族や友人を失った悲しみ、放射線の後障害、さらに、自分のみならず子供や孫の健康にまで被爆の影響が及ぶのではないかという不安を生涯背負い、今なお苦しみ続けています。耐え難い苦難を経験した被爆者たちは、「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」との揺るぎない信念の下、平均年齢が 81 歳を超えた現在も、核兵器廃絶と世界平和を力強く訴え続けているのです。彼らの切なる願いは、生きている間に核兵器が禁止され、廃絶されるのを見届けることです。

被爆者が経験した筆舌に尽くし難い破壊と悲しみは、過去の出来事ではありません。核兵器が存在し、為政者たちがその使用をほのめかし続ける限り、事故や誤作動、そして意図的な核の使用により、いつでも核戦争が勃発し得る状況にあります。

今年 1 月 25 日、米国の科学誌「原子力科学者会報」は、人類滅亡までの残り時間を象徴的に示す終末時計の針を残り 2 分にまで進めました。これにより、1947 年のスタート以来、時計の針は最も深夜に近づいたこととなります。同誌は、「世界の指導者が、迫り来る核戦争や気候変動の脅威に対し効果的措置をとらなかったことで、世界の安全保障環境は 1 年前よりも危険性が増した。これほど危険が高まったのは第二次世界大戦以来」との声明を発表しています。

事実、米口間の緊張は、冷戦終結後最悪のレベルにまで高まっていますが、これは核戦争を勃発させる導火線のひとつに過ぎません。核保有国が、朝鮮半島、南シナ海、中東、南アジア等の地域における今後の展開が予測不能な紛争にからんでおり、コントロールできない大惨事に発展しかねない状況です。さらに悪いことには、どの核保有国も何十億ドルもの予算を核戦力の近代化・機能向上に費やしています。それらの予算は本来、都市や市民のニーズを満たすために建設的に使用されるべきであったものです。

米朝会談が北東アジア情勢にどう影響するのか、誰も予測が立てられない状況です。また、中東におけるイランとの核合意に関する動向も、明確な見通しは立っていません。世界の為政者がこれらのグローバルな問題を平和裏に解決し、核兵器のない世界実現に向け、誠実なリーダーシップを発揮することを心から期待しています。また、ここにおられる皆様方には、被爆者の長年にわたる核兵器廃絶の切実な訴えを再確認していただき、その願いを受けとめて、行動を起こしていただきたいと思えます。

核兵器の非人道性についての認識が国際的に広がるとともに、核兵器の禁止と廃絶を求める声が高まっているにもかかわらず、その実現に向けた進展は十分ではなく、それどころか後退すらしかねない状況に私たちは直面しています。今こそ現状打破が必要です。同じ市長という立場におられる皆様方が、この危機感を共有してくださることを強く願い、この場に立っています。

今、各都市の首長の共通の使命は、一般市民の安全で安心な暮らしを守ることです。そのために、平和首長会議では、各加盟都市が、国境を越えて都市間での相互信頼を構築することを奨励しています。また、気候変動、住居問題、難民問題、銃による暴力やテロなど、それぞれの国・地域が抱える諸課題に取り組むことを支持しています。核兵器のない世界と世界恒久平和という共通のゴールを目指しつつ、安全で活力のある都市の実現に向けた各加盟都市の自主的な取組を尊重しています。

アメリカにおいては、デモイン市が平和首長会議の副会長都市、そしてアメリカにおけるリーダー都市を務めてくださっています。アメリカの加盟都市が、デモイン市を中心として、増大しつつある戦争の危険性について、また、持続可能な開発の基礎となる、安全で活力ある、核兵器のない平和な世界実現に向けて、市民の意識啓発を行ってくださることを期待しています。アメリカの加盟都市が、デモイン市を中心として、主体的な活動を展開していくなかで、被爆者が切実に訴えてきた世界平和の実現に向けたイニシアティブが発揮されることを、心から期待しています。広島にある平和首長会議事務局は、アメリカの加盟都市の平和の取組を全力でサポートします。

アメリカの全ての都市の市長の皆様が平和首長会議に加盟し、2020年までの10,000都市加盟を目指す私たちの後押しをしてくださることを願っています。デモイン市のフランク・カウニー市長と共に、是非、強力なアメリカ支部をつくってください。今後、全米市長会議の皆様とさらに連携を深めていくことを心から希望しています。

ご清聴ありがとうございました。